

| | | | | |
|------------|---|----------------|---------|--------|
| 沼津工業高等専門学校 | 開講年度 | 平成31年度(2019年度) | 授業科目 | 英語特論 I |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 2019-813 | 科目区分 | 一般 / 必修 | |
| 授業形態 | 授業 | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 2 | |
| 開設学科 | 医療福祉機器開発工学コース | 対象学年 | 専1 | |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 『Closer to the World: VOA's Health & Environment Reports』(松柏社)、英和辞典 | | | |
| 担当教員 | 西口 美津子 | | | |

到達目標

- 教科書の英文を読解、聴解し、大意を把握できる。
- 読んだ英文内容の概略を、100語程度の英語で、サマリーや自分の感想を論理的に書くことができる。(D2-4)
- 自分に身近なこと、関心のあることについて、他の学生と協力しながら5分～6分程度の英語でのプレゼンテーションができる。
- 平均YL 2.0以下であれば、初見であってもwpm=100程度のスピードで読み、7割以上の理解ができる

ループリック

| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 |
|---|--|---|---|
| 評価項目1 教科書英文の大意を把握できる | <input type="checkbox"/> 基本的語彙、語法、文法の理解して、英文を正確に理解できる。 | <input type="checkbox"/> 基本的語彙、語法、文法を理解して、英文を概ね理解できる。 | <input type="checkbox"/> 基本的語彙、語法、文法の理解が不十分で、英文を理解できない。 |
| 評価項目2 読んだ英文内容の概略を、100語程度の英語で、序論、本論、結論を含んだサマリーを書くことができる(D2-4) | <input type="checkbox"/> 序論、本論、結論といった英文の論理展開を正確に理解できる。 <input type="checkbox"/> 読んだ英文を100語程度の自分の英語で要約や意見表明ができる。 | <input type="checkbox"/> 序論、本論、結論といった英文の論理展開をほぼ正しく理解できる。 <input type="checkbox"/> 読んだ英文を100語程度の英語で要約や意見表明ができる。 | <input type="checkbox"/> 序論、本論、結論といった英文の論理展開を正確に理解できない。 <input type="checkbox"/> 読んだ英文を100語程度の英語で要約や意見表明をすることができない。 |
| 評価項目3 自分に身近なこと、関心のあることについて、他の学生と協力しながら5分～6分程度の英語でのプレゼンテーションができる。 | <input type="checkbox"/> 正しい論理展開で、聞き手の興味を引き、わかりやすくプレゼンテーションをすることができる。 <input type="checkbox"/> 英文を暗誦した上で、堂々と明瞭な発音でプレゼンテーションをすることができる。 <input type="checkbox"/> チームの一員としての自覚を持ち、チームワークを感じられるプレゼンテーションをすることができる。 | <input type="checkbox"/> 正しい論理展開で、わかりやすくプレゼンテーションをすることができる。 <input type="checkbox"/> メモを見ながらではなく、前を向いて明瞭な発音でプレゼンテーションをすることができる。 <input type="checkbox"/> 他の学生と協力し、チームとしてプレゼンテーションを仕上げることができる。 | <input type="checkbox"/> 正しい論理展開で、わかりやすくプレゼンテーションをすることができない。 <input type="checkbox"/> 原稿やメモを見つ放しで、前を向いてプレゼンテーションをすることができない。 <input type="checkbox"/> 他の学生と協力して、チームとしてプレゼンテーションを仕上げることができない。 |
| 評価項目4 平均YL 2.0以下であれば、初見であってもwpm=100程度のスピードで読み、7割以上の理解ができる。 | <input type="checkbox"/> WPM=100程度のスピードで読み、8割以上の理解ができる。 | <input type="checkbox"/> WPM=100程度のスピードで読み、7割以上の理解ができる。 | <input type="checkbox"/> WPM=100程度のスピードで読みえない、または7割以上の理解ができない。 |

学科の到達目標項目との関係

実践指針 (D2) 実践指針のレベル (D2-4) 【プログラム学習・教育目標】 D

教育方法等

| | |
|-----------|--|
| 概要 | 高専本科の英語科目で学習した事項を土台にして、自己の研究成果の概要を英語で記述したり、発表したりするための4技能を統合した英語力の向上を目指す。授業の最初には英語対話練習等の活動を行い、英語での自己表現力の基礎力を養う。その後、教科書の聴解および読解の他、音読を行い、読んだ英文に対して、概要説明、あるいは意見表明を100語程度の英語で行うことで、論理的な英文構成能力を涵養する。そして、本科目最後には、3人1組で5～6分程度のプレゼンテーションを行ってもらう。また、自学自習としては英語多読（多聴）やサマリーライティングを課し、英語学習習慣の確立をはかる。その他、英語の相互使用を確保するためにペア学習なども適宜取り入れていくため、積極的に能動的な授業姿勢を求める。※この科目は海外企業の企画・マーケティングを担当していた教員が、その経験を活かしビジネスでの実践を踏まえて対話形式で行うものである。 |
| 授業の進め方・方法 | 教科書『Closer to the World』を用いて、リスニングとリーディングを行う。この内容理解については、前期期末試験で問う。 また、教科書の2ユニットずつにライティングレポートを課す。 また、3人組を作り、英語でのプレゼンテーションと質疑応答を行ってもらう。しっかりと準備をして聞き手の方を見てプレゼンを行えるか、グループで協力して原稿作成ができるか等を評価の中心的な基準とする。 自学自習としては、英語多読多聴を課す。授業目標に到達しているかは多読教材を用いた実力試験で評価する。 |
| 注意点 | 1. 評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜再試や追加課題を課し、加点することがあります。 2. 中間試験を授業時間内に実施することができます。 3. この科目は学習単位科目であり、1単位あたり30時間の対面授業を実施します。併せて1単位あたり30時間の事前学習・事後学習が必要となります。 |

授業計画

| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
|----|---------|-----------------------|--|
| 前期 | 1週 | ガイダンス / Unit 1 | 英文内容が理解できる。 |
| | 2週 | Unit 1 / プrezentチーム決定 | 英文内容が理解できる。 プレゼンチームの決定 |
| | 3週 | Unit 2 | 英文内容が理解できる。 レポートの提出①。 プレゼンチームの決定 |
| | 4週 | Unit 5 / プrezent準備 | 英文内容が理解できる。 プレゼン進歩状況確認 (テーマ決定) |
| | 5週 | Unit 5 / Unit 8 | 英文内容が理解できる。 |
| | 6週 | Unit 8 | 英文内容が理解できる。 レポートの提出②。 |
| | 7週 | Unit 10 | 英文内容が理解できる。 |
| | 8週 | Unit 10 / プrezent準備 | 英文内容が理解できる。 プレゼンの日本語原稿の提出。 |
| | 2ndQ 9週 | Unit 11 | 英文内容が理解できる。 |

| | | | |
|--|-----|-------------------|---|
| | 10週 | Unit 11 / Unit 12 | 英文内容が理解できる。 レポートの提出③。 |
| | 11週 | Unit 12 | 英文内容が理解できる。 |
| | 12週 | Unit 15 | 英文内容が理解できる。 レポートの提出④。 |
| | 13週 | 英語多読試験 / プrezン準備 | YL 2.0以下であれば初見の英文でもWPM=100程度のスピードで7割以上の理解を伴って読める。 |
| | 14週 | Prrezン | Prrezン発表 |
| | 15週 | Prrezン | Prrezン発表 / 多読ポートフォリオ最終提出 |
| | 16週 | 前期末試験 | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|----|----|------|-----------|-------|-----|
|----|----|------|-----------|-------|-----|

評価割合

| | 試験 | 発表 | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
|---------|----|----|------|----|---------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 30 | 30 | 0 | 0 | 5 | 35 | 100 |
| 基礎的能力 | 30 | 0 | 0 | 0 | 5 | 35 | 70 |
| 専門的能力 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |